
とある幻想の無限覚醒

頭脳砂漠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある幻想の無限覚醒

【Nコード】

N5038Z

【作者名】

頭脳砂漠

【あらすじ】

この世界を開くにはカギが必要なんだ。それが君だよ。 オ
イオイどオなつてンだア？ その幻想をぶち殺す！アレイスタ
ー、一方通行、上条当麻、そして この世界のカギとなつてし
まった少年が混じり合った 。
科学と魔術の交差にかけられた鎖を1人の少年がこじ開けて、物語
は始まる。

雨降り我真夜中 i m a g i n a t i o n d a r k n e s s

ザァッ、つと雨が降っている。

大粒の雨だ。

ここはとても広い、研究所。

屋内であるはずなのに、雨が降り注いでいる。

なぜか。それは、天井に巨大な穴が開いていたからである。

内側からなにかが弾け飛ぶようにして開いている。

これは、絶対にこの研究 素粒子の研究では開くことのない穴。

さらに、いるはずの研究者は1人としていない。

いや、いなくなった と言った方がいいのだろうか。

研究所の床に真っ赤に体を染めながら、転がっていた。

その原因は1つ。その研究所の大研究室の中央に立っている1人の少年。

白濁の髪に真紅の瞳。中性的な体格。年齢は 12歳ほどだろうか。

彼の持つ超能力は『^{アクセラレータ}一方通行』という名のベクトル操作。

運動量、熱量、光量、電気量などの力の向き ベクトルを操作できる能力。

云わば、最強の能力。

その少年の近くの物陰でなにかが動いた。

少年はまだ残っていたか、とストレスを溜める。

「まアだ残っていやがりました……かア……？」

少年『アクセラレータ一方通行』がそこで見たのは1人の少年だった。
中性的な顔立ちで、黒い髪に黒い瞳。体格からして自分より1歳ほど下だろうか、しかし顔はとても幼い。自分よりいくつも下に見えた。

そしてその少年は　泣いていた。顔をぐしゃぐしゃにしながら。

「兄ちゃん……助けて……」

アクセラレータ一方通行にはその助けを求める声が天使の声に聞こえた。
ハッと我に返る。

コイツも俺と同じ……か……。

クソヤロウ、実験がんなに必要かア？

ふぎげんな、そんな気持ちが進み上げてくる。

しかし、アクセラレータ一方通行は知らなかった。

その目の前にいる少年が

この世界のカギであり、自分をも凌駕するほどの能力の所持者だと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5038z/>

とある幻想の無限覚醒

2011年12月17日00時55分発行